

赤煉瓦倶楽部舞鶴							
会報132号 令和7年(2025年)10月20日							
「赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ http://www.redbrick.jp/							

赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報	
発行人/会長 吉岡博之	
編集人/小野章	
〒625-0062 舞鶴市森973番地の1	
FAX/0773-63-9764	
E-mail brick7388@yahoo.co.jp	

目次

- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| 1. 舞鶴の水道を巡る（第5回） | 4. 赤れんが6号棟の保存修理工事&「三角地」での解体工事が始まりました |
| 2. 花咲くまちを夢想する | 5. 赤煉瓦倶楽部舞鶴の解散にかかる懇親会の開催について |
| 3. 図書のご紹介 | |

1. 舞鶴の水道を巡る（第5回）

神田（こうだ）秀之

一方、軍港水道とは別に、町営の住民用水道が計画されたのは昭和11年からでした。まず日出紡織（後の大和紡績）が現在の喜多工業団地の場所に舞鶴工場を建設するに当たり、由良川（桑飼）から導水する水道を計画しました。当時水道の整備が喫緊の課題であった舞鶴町がそこに加わって共同施工を進めたのですが、途中で由良川水質の悪化（鉄分の増加）が起り、重ねてそこへ海軍から水道水分与の要請が相次ぎこの計画は何度も大きな変更を余儀なくされました。

この事業計画は中舞鶴、東舞鶴への展開も意図されていたようで、計画段階で軍、中舞鶴町、新舞鶴町、倉梯村、志楽村、与保呂村が参加して費用負担などを協議しています。ただし軍は途中で離脱し、独自に由

良川（有路）に水源を求め、昭和18年に有路に浄水場を完成させて中・東舞鶴の軍港施設や軍人軍属住宅まで給水を実施しました。さらに戦局の拡大に伴って町の岡田水源水道も、同年には軍に買収されてしまうことになります。

しかし中舞鶴と東舞鶴では逆に、その軍の水道から分与を受けて市民への給水を計画したのですが、資金難と資材不足のため頓挫してしまいます。明治期から大正・昭和にかけて全国の至る所で、海軍・陸軍と自治体との間で水の融通があったようで、自治体の水道建設の促進のために軍が国庫補助金申請の副申をしたり、水源用地の買い上げや補償金の支払い等もあったことがわかってきました。

（伊佐津川・相生橋下流側にあったCIPφ550 海軍管）



（相生橋上流側に架かっていたCIPφ300 町水道管）



植物園に行くと特に分かるが、花とその香りは人を幸せな気持ちにするようだ。舞鶴市の姉妹都市ポーツマス市（英国）は町全体が花で溢れているが、例えば海辺の小さな円形の赤煉瓦の要塞跡には市のバラ園があり、風に漂う濃厚なバラの香を放っていた。また、横須賀市の基地を望む海辺の「ヴェルニー公園」には、1400 株のバラ庭園が設置されており、夫々のバラの前に名称と由来の表示板が立てられている。

ポーツマス市では毎年ガーデニング・コンクールを開催しており、優勝した市民の庭を特に見学させてもらったことがある。また、カナダのヴィクトリア市（バンクーバー島にあるブリティッシュ・コロンビア州の州都）を訪問した際には、ここでもガーデニング・コンクールを実施していたので、優勝者の庭を見学させ

てもらった。両優勝者ともその家庭の夫人が熱心に案内をしてくれた。また、ヴィクトリア市では敷地と通りを隔てる塀は稀で、各家庭が通りすがりの人が花を楽しめるように開放した庭造りを競い合っている。

ヴィクトリア市の郊外には「ブッチャートガーデン」という名所がある。20 世紀初めに石灰石の採石場跡の荒れた窪地を活用し美事な庭園にしたものである。カナダの国定史跡に指定された世界屈指の庭園であり、その存在と相まって市民のガーデニングも盛んになったのではないだろうか。

舞鶴市も特に海辺の赤れんがパーク内外で花壇を設けることで、市民のガーデニング愛好を促すことができるのではないだろうか。富士には月見草がよく似合う風と言うなら、赤煉瓦にはバラの花がよく映える。



ポーツマス市の要塞跡のバラ園



ポーツマス市の庭園コン/優勝者の庭



横須賀市のヴェルニー公園のバラ



ヴィクトリア市の住宅の花壇



ヴィクトリア市の住宅の花壇



ブッチャートガーデン

(※ヴェルニー公園写真は「いこーよニュース」から借用)

3. 図書のご紹介：「水と清潔（風呂・トイレ・水道の比較文化史）」 福田真人著

本会報には神田さんに「舞鶴水道を巡る」を連載していただいています。今回の本は世界の水利利用の歴史を風呂・トイレなどと絡めて解説しています。興味深いのは、水道や浴場を高度に整備した古代ローマ帝国の文化的後継者とされる西欧人がローマ人と異なり、殆ど風呂に入らない人々であったこと、日本人の方がはるかに風呂好きで清潔であったことが分かります。大都市の江戸には、神田上水や玉川上水など高度なレベルの水道が整備されていました。特に玉川上水は、多摩川の羽村から四谷までの落差 92m を 43 km で引く工事を 1653 年に 7 か月で完成するレベルの高さでした。その他、トイレ・風呂に係る興味深いエピソードが載っています。本書は市図書館にあります。（朝日新聞出版刊 本体 1700 円）



4. 赤れんが6号棟の保存修理工事&「三角地」での解体工事が始まりました

さる8月27日、重要文化財を未来に引き継ぐ、赤れんが6号棟（重要文化財 舞鶴旧鎮守府倉庫施設／文部科学省所有：舞鶴市管理）の保存修理工事の安全を祈る安全祈願祭が執り行われました。令和7年度の工期は、令和7年9月1日～令和8年3月10日（予定）です。工事に伴い、駐車場と赤れんがパークを結ぶ、通称赤れんがロードと6・7・8号棟敷地が通行できなくなり、山沿いに歩行者用仮設通路が整備されています。



上写真&図：通称「赤れんがロード」と手前から赤れんが6・7・8号棟（舞鶴市ホームページより）



6号棟周辺の工事の様子



駐車場から赤れんがパークへの仮設通路



6号棟の工事現場の出入口



赤れんがパーク北側のボードウォーク

いわゆる“防衛省三角地”については、昭和15年建設の旧海軍施設2棟の解体を行っています。「舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり実施計画」によれば、赤れんがパークのゲートウェイとして、道の駅や交通ターミナル機能を導入するとともに来場者を迎える広場やその増加を想定して新たな駐車場を整備することとしています。



防衛省「三角地」2棟の建物解体工事の様子



第二砲術科兵器庫／鉄骨造一部木造二階建



光学兵器庫／鉄筋コンクリート造二階建



第二砲術科兵器庫解体の様子

5. 赤煉瓦倶楽部舞鶴の解散にかかる懇親会の開催について

会報 131 号の令和 7 年度通常総会報告のとおり、当倶楽部は会員の皆様の長年のお力添えのおかげにより所期の目的を果たすことができたことから、今年度末をもって解散いたします。

つきましては、令和8年2月21日（土）午後6時（予定）から、会員・関係者の皆様にご参加いただき、お礼を兼ねた懇親会を開催する予定です。詳細については 1 月発行の会報 133 号の紙面でお知らせいたします。